



イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼中学3年生の時、柔道一筋の青春時代。
柔道着に身を包み、自宅前での一枚。



本田 詩乃 さん



松本あやり さん



西村 里菜 さん



那須 彩夏 さん

先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

おかげさまで・・・



七滝中央小学校 木屋 秀章 校長
(人吉市出身・57歳)

桜木健一と聞いて、皆様方はどんなテレビ番組を思い出されるでしょうか。そうですね、「柔道一直線」です。当時、私は人吉市立第二中学校の柔道部で、土日祝日もない猛特訓の日々。下校時には必ずといって、部員と一緒に一条直也（主人公）になりきり、柔らの道に命をかけた♪と大きな声で歌って帰ったものです。ある日、こんな出来事がありました。乱取り中に、一つ年上の力の上では私の方が上だった先輩から「今日部活動が終わったら、中庭の百葉箱の所に来い。」と言われました。行ってみると、すでに先輩が待っており。「一言、「親しき仲にも礼儀あり。」と、ぼつりと言われたのです。当時の指導者の先生方や共に汗を流した仲間は今でも大変感謝しています。

皆さんからの便りをご紹介します。

まちへのラブレター

黄 金色に実った稲、刈取りも今は機械に。子供の頃、手伝いをし新米のできる楽しみがあった。農家に生まれ、取れたてを食べた、あの頃が今懐かしく思い出される。食欲の秋運動の秋。おおいに楽しく過ごしていきたいと思っています。

(木倉・Oさん)

稲刈りと言えば、今は機械で刈るのが主流ですが、昔は鎌を使っての手作業で地道な作業でした。小学5年生で米作りを体験する学習があります。日本人の主食である米がどのように育てられているのか？学ぶ大切な機会ですね。刈り取られた新米を楽しむに待つ喜びもあったようです。今が一番過ごしやすい季節、秋を満喫してください。

(広報担当)

来 年2月の熊本城マラソン2回目が開催されます。息子が抽選に当たったと言っていました。10月号で紹介されていた倉内さんのようにトレーニングしているのでしょうか？完走を目標にガンバレ!!

(木倉・Mさん)

熊本城マラソンには、町内からも多くの人が出場されると思います。42・195kmの長い道のりを完走するため、熊本城マラソンまでの3カ月間トレーニングを頑張ってください！12月16日には郡内の町対抗駅伝大会が町役場前をスタートして開催されます。ぜひ町代表選手の応援を沿道からお願いします。コースや通過予定時間は13ページの暮らしの情報に掲載してあります。

(広報担当)



文芸

ひとひねり

短歌

赴任せし村の夕暮れ聞こえ来しつくつくほうし淋しきかの日

ふにん

歌会に人生教訓まなびたり「孫は息子のもの息子は嫁のもの」

うたかい

黄昏の山の麓の一軒家幸せゆらぐ窓の灯りに

たそがれ

高温多湿に畑の青草伸びる伸びる吾は毎日草取りばあさん

こうおんたしつ

寝たきりの入院の友ひと目みむと思えど逢えざる心苦しき

ふた

果てしなく捻り田波打つその涯に大矢野原はかすんで見える

み

九月なほ暑さ去らぬを託らねば不意につくつく法師蟬鳴く

ふい

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

浮島の杜の上なる小望月

もり

水底の月も煌々照らし合ふ

みなぞこ

月の出を知らせる声の階下より

みな

満月の降りて来さうな湖畔かな

みな

さざ波にきらめく湖や夕月夜

うみ

秋まつり指まで怪し巫女の舞

あや

肥後狂句

天狗会

もうよからう メダルより嬌さがきなん

つらいなア

夜明け前 一番鶏も起き出した

すまし顔

夜明け前 お偉いさんと連れだった

重かねエ

頭たれとるよか秋ぞ

一般投稿

帰り道山また山に囲まれる川の流に木の葉ゆられて

昭

昭和初期学びし校舎の前に行く袴を召した恩師浮かび来る

はかま

晩秋の蜘蛛の巣光る七色の露

松岡

宮部氏の命日むかえ供養祭 つゆの晴れ間にたいこがひびく

岩本

人の子を見つっ願うはうちの子が嫁をもらいて子を作ること

河部

雨降りて地固まると人は言う今年の雨は山里荒らす

田中

守田 律子

丹生 則子

黒田 順子

増永 笑和

平野 千鶴

鳥井 蘭

江藤 お竜

吉田 楽園

河地 ゆき

内村 孝子

松岡 文江

岩本 順子

川部 寅男

河部 二男

外至